

第 28 回 JaSECT 九州地方会冬季セミナー開催の報告

世話人 新蔵 康浩

この度、日本体外循環技術医学会（JaSECT）九州地方会主催による第 28 回 JaSECT 九州地方会冬季セミナーを 2023 年 2 月 4 日に鹿児島市にて開催いたしましたので、ご報告致します。例年秋に開催されていたセミナーで、当初は 2021 年秋に開催予定でしたが COVID-19 感染拡大により 1 年延期となりました。また、2022 年 11 月には第 47 回日本体外循環技術医学会大会（大会長：堤 善充 様）が開催されることから、2023 年 2 月に冬季セミナーとして開催することになりました。

今回のセミナーテーマは「体外循環の Frontline」としました。講演や討論を通じて臨床（現場の最前線）に反映できるセミナーとなるように、またこれから第一線で活躍する若手 Perfusionist にも有益なセミナーになることを願って選ばせて頂きました。

セミナープログラムとしては特別講演 I として「凝固線溶を中心とした体外循環管理」のテーマで東京医科歯科大学附属病院の倉島直樹 先生にご講演頂きました。体外循環管理で肝となる凝固線溶系について自施設での研究結果や、論文を用いてわかりやすくご講演頂きました。シンポジウムでは「POCT を用いた体外循環の止血戦略」と題し、中頭病院の楚南 様、鹿児島大学病院の新地 様、宮崎大学病院の田中 様、福岡大学病院の山崎 様に各施設における POCT 装置を用いた止血戦略や取り組み、知見についてご講演頂きました。教育講演では鹿児島大学病院の川村英樹 先生に「臨床工学技士が知っておくべき感染制御の基礎知識」のテーマで、感染症に関する基礎から COVID-19 感染症まで幅広くご講演頂きました。また、特別講演 II では鹿児島大学病院 心臓血管外科教授の曾我欣治 先生に「低侵襲心臓血管外科手術を安全に」のテーマでご講演頂きました。MICS 手術が普及しつつある中で、最も担保すべき“安全”について深く学ぶことが出来ました。

今回の冬季セミナーは第 26 回秋季セミナー（筑紫野市、世話人：福井 様）以来の現地開催となりました。従前どおりのセミナーを目指しましたが、会場の変更や抄録集がデータ配布になったことで、会員の皆様に対し大変なご迷惑をおかけしました。この場をかりてお詫び申し上げます。

コロナ禍の恩恵として Web 形式セミナーも確立しましたが、休憩時間中の講師への質問、機器展示場でのメーカーとの情報交換などの場面を見かけたことで、現地開催での学会の価値を改めて認識しました。また、今回のセミナーは淵脇浩之 様の名誉会員就任を記念したセミナーでもあり、酒席でのお祝いは叶いませんでしたが、会員の皆様とともに表彰式を開催できたことに大変満足しております。

最後になりますが、本セミナーを開催するにあたり会員ならびに関係者の皆様には多大なるご支援・ご協力を賜りました。20 社の企業様から協賛を頂き心より感謝申し上げます。

お陰様をもちまして、参加者総数 89 名と多くの方にご参加頂きました。

第 29 回 JaSECT 九州地方会セミナーは嬉野市で開催されます。世話人の野口 様へバトン（絆）を渡し、セミナーの成功を祈念して冬季セミナーの開催報告と致します。



運営スタッフ

特別講演 I 「凝固線溶を中心とした体外循環管理」



倉島直樹 先生



司会：假屋佑紀 様

シンポジウム 「POCT を用いた体外循環の止血戦略」



座長：又吉徹 様、長元優 様



左より 楚南海里 先生、新地晃也 先生、田中亮太 先生、山崎慎太郎 先生

教育講演「臨床工学技士が知っておくべき感染制御の基礎知識」



川村英樹 先生



司会：倉見谷耕太 様

特別講演Ⅱ「低侵襲心臓血管外科手術を安全に」



曾我欣治 先生



司会：新蔵康浩

次回大会報告「第48回 日本体外循環技術医学会九州地方会大会」



渡辺直喜 様

九州地方会名誉会員 表彰式



左より 芦村 様、淵脇 様、堤 様、新蔵

